

1. 略歴

- 1978年 3月 東京大学文学部美術史学専修課程卒業
- 1978年 4月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程（美術史学専攻）入学
- 1980年 3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程（美術史学専攻）修了
- 1980年 4月 東京国立博物館学芸部資料課に勤務（文部技官）
- 1981年 4月 文化庁文化財保護部美術工芸課に出向
- 1989年 10月 同上 絵画部門文化財調査官
- 1994年 10月 東京大学文学部に出向（助教授）
- 1995年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授（美術史学）
- 2000年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授（美術史学）

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本美術史を専攻する。主たる分野は江戸時代の絵画・版画の歴史。

b 研究課題

室町時代末期から江戸時代初期にかけての風俗画、江戸中期の若冲・蕭白と浮世絵、中後期の南画を主な研究領域としている。近年は平安・鎌倉時代の絵巻や近代の洋画も論文の主題にするなど、論及の対象は拡大し、日本美術史全体を概観するようになった。本来は記号論、社会史、精神分析などの観点を日本絵画の解釈に生かすとともに、作品と文献史料の双方で絵画史研究のための基礎資料を整備することに努めている。

c 概要と自己評価

伊藤若冲研究に基づくワシントンでのシンポジウム発表（2012年）、岩佐又兵衛「伊勢物語 梓弓図」（文化庁）についてのベルリンでのシンポジウム発表（2013年）、浦上玉堂研究に基づくチューリッヒでのシンポジウム発表（2014年）——いずれも早くに原稿を送ったものの、ゲラさえも返って来ず、いっこうに報告書が刊行される気配はない。こちらは締切を守っているのだから刊行の約束も守ってほしいと切に思う。そのようなしだいで英文の論文が少ない中、日本美術の特質を外国人研究者のために英語で論じた口頭発表を行ない、それを若干増補した論考1篇を紀要に掲載した。従来の同種の議論とはいささか異なる視点を提示している。ほかには南画について概観する論考2篇が主要な業績といえる。以下に特記していない仕事としては、『辻惟雄集』（岩波書店）全6巻のうち第3巻以降の校訂作業がある。編集者を補助し、専門の立場から実質的な校正を行なった。

美術史学会常任委員に選出され、編集委員と例会委員を務めた。

d 主要業績

(1) 著書

共著、佐藤康宏、板倉聖哲編『日本美術全集6 東アジアのなかの日本美術』、小学館、2015.3

(2) 論文

佐藤康宏、「プライス本鳥獣花木図の作者——辻惟雄氏への反論」、『國華』、1432号、34-43頁、2015.2

SATO Yasuhiro, “Absence of Boundaries, Presence of Frames: Two or Three Things I Know About Japanese Art”, 『美術史論叢』、31号、pp.77-100、2015.3

佐藤康宏、「明末蘇州派と18世紀京都画壇」、国際シンポジウム報告書『蘇州をめぐる諸問題——中国と日本の観点から』、241-252頁、2016.3

(3) 解説

佐藤康宏、「異端研究の正統派」、『辻惟雄集6 若冲と蕭白』（岩波書店）、241-244頁、2014.9

佐藤康宏、「渡邊崋山筆芸妓図」、『國華』、1433号、41-43頁、2015.3

佐藤康宏、「椿椿山筆根津宇右衛門象」、『國華』、1442号、28-32頁、2015.12

(4) 学会発表

国際、SATO Yasuhiro, “Absence of Boundaries, Presence of Frames: Two or Three Things I Know About Japanese Art”, 12c École Internationale de Printemps / 12th International Spring Academy、東京国立博物館、2014.6.10

国内、佐藤康宏、「明末蘇州派と18世紀京都画壇」、蘇州をめぐる諸問題——中国と日本の観点から、大和文華館、2015.11.1

(5) 啓蒙

- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 60 授業評価」、『UP』、498号、30-31頁、2014.4
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 61 東大教師が新入生にすすめる日本美術史以外の本 その五」、『UP』、499号、8-9頁、2014.5
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 62 速度に背いて」、『UP』、500号、8-9頁、2014.6
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 63 現実の乱反射」、『UP』、501号、20-21頁、2014.7
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 64 成人向け」、『UP』、502号、6-7頁、2014.8
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 65 海を渡り外国人を殺しに行く」、『UP』、503号、18-19頁、2014.9
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 66 探幽伝の余白に」、『UP』、504号、20-21頁、2014.10
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 67 短か過ぎた夏の光」、『UP』、505号、16-17頁、2014.11
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 68 裏工作」、『UP』、506号、12-13頁、2014.12
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 69 図形なのに自然」、『UP』、507号、14-15頁、2015.1
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 70 この巨大なガラクタ置場のなかで」、『UP』、508号、6-7頁、2015.2
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 71 伯楽は常には有らず」、『UP』、509号、44-45頁、2015.3
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 72 本を読む女たち」、『UP』、510号、22-23頁、2015.4
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 73 東大教師が新入生にすすめる日本美術史以外の本 その六」、『UP』、511号、24-25頁、2015.5
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 74 美女と死体」、『UP』、512号、14-15頁、2015.6
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 75 アトリビューション」、『UP』、513号、20-21頁、2015.7
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 76 近視眼」、『UP』、514号、24-25頁、2015.8
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 77 泣いてもええやん」、『UP』、515号、32-33頁、2015.9
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 78 政治的中立」、『UP』、516号、44-45頁、2015.10
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 79 古雑誌頌」、『UP』、517号、28-29頁、2015.11
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 80 放送大学で学ぶ」、『UP』、518号、16-17頁、2015.12
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 81 枕絵論の枕に」、『UP』、519号、14-15頁、2016.1
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 82 お笑い最高裁」、『UP』、520号、26-27頁、2016.2
- 佐藤康宏、「日本美術史不案内 83 開店休業」、『UP』、521号、8-9頁、2016.3

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

- 委嘱教授、放送大学、「日本美術史 (14)」、2014.4~2015.3
- 特別講演、大和文華館、「祭りの準備——初期祭祀図について」、2014.5
- 特別講演、台湾大学、“Absence of Boundaries, Presence of Frames: Two or Three Things I Know About Japanese Art”、2014.9
- 特別講演、林原美術館、「初期洛中洛外図——歴博甲本について」、2014.10
- 特別講演、日本アート評価保存協会、「なぜ、それは若冲ではないのか」、2015.2
- 非常勤講師、早稲田大学エクステンションセンター、「若冲の絵画」、2015.8~2015.9
- 非常勤講師、アカデミー文京、「伊藤若冲の生涯と作品」、2015.11~2015.12

(2) 行政

- 文化庁、文化審議会専門委員（文化財分科会）、2014.3~2016.3
- 練馬区、練馬区立美術館運営協議会委員、2014.7~2016.3
- 鎌倉市、鎌倉市美術工芸品等収集選定委員会委員、2016.1~2016.3

(3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

- 任意団体、美術史学会、常任委員、2015.6~2017.6
- 任意団体、國華編輯委員会、編輯委員、2014.4~2016.3
- 任意団体、鹿島美術財団、推薦委嘱者、2014.4~2016.3